

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子のオリンピック

副校長 田邊 訓志

10月28日土曜日に、「ひぐみオリンピック」(通称ひぐオリ)が開催されます。9月5日に「ひぐみオリンピックだより 第1号」として保護者の皆様にお伝えしております、今年度の主な内容は次のとおりです。

○8時45分～12時00分の半日開催(午前中・昼食なし)で行う。

○児童の出場種目は、リレー・団体競技・団体演技とする。

○種目は、2学年ブロック(1・2年、3・4年、5・6年)単位で行う。

○リレーでは、児童は低学年ブロックは折り返しリレーと選抜リレーのいずれか、中・高学年は2ラインリレーと選抜リレーのいずれかに出場する。

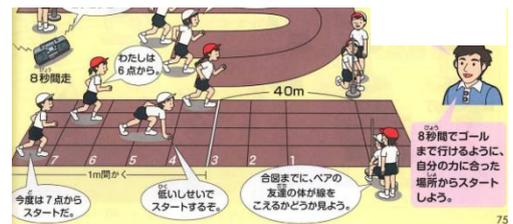
○リレーと団体競技は種目ごとに勝敗を競う。

運動会は、学習指導要領上では「健康安全・体育的行事」として位置づけられています。種目においては、各学年が、配当されている「体育」の授業時数の中で、「走の運動(遊び)や陸上運動」、「表現・リズムダンス」「ゲーム」などの単元として学習していきます。

右の絵は、中・高学年生が「走の運動」「陸上運動」の学習で取り組んでいた、「8秒間走」です。走力の異なる子ども一人ひとりが、今の自分の力に応じてスタート位置を決め、音楽が流れている8秒間の間に全力で走り、ゴールを目指します。一人ひとりが意欲をもって繰り返し全力で取り組むことで、どの子も8秒間に走ることでできる距離が増し、学習の成果として走力の高まりを実感することができました。次の絵は、2ラインリレーです。チームのうち決められた人数が内側を走ることができるので、作戦の幅が広がり、体力とともに思考力・判断力・表現力の育ちを目指しています。

今年度の種目のリレーと団体競技では、一人ひとりが自分の力に合っためあてをもって、意欲的に運動に取り組んだり、チームの勝利を目指して思考を働かせたり伝え合ったりしながら学び合い、高めあうひぐみっ子の姿を、ぜひ見ていただきたいと考えています。

体育学習の延長ですので、競技は種目ごとに勝敗を競い合いますが、得点をつけたり紅白で総合的な勝ち負けを決めたりはしません。「学びあい高めあう姿を、まちの皆様に向けてお伝えできたひぐみっ子みんなが金メダル」のオリンピックにしたいと考えています。ご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【上の絵は3・4年体育読本より引用】

学校全体の子ども達の笑顔を見守って ～児童支援専任のしごと～

児童支援専任 眞貝 恵美子

児童支援専任の仕事は、多岐に渡ります。その役割を一言で表現するなら、「学校全体の子ども達の笑顔を見守ることだと思っています。」

日々の授業や学校行事の中で、子ども達は学級担任とともに様々な経験を重ねていきます。クラスで起こった楽しいことも友達とうまくいかず悩んだことも、その一つ一つが子ども達の成長にとって大切な経験です。学級担任は子どものとる行動や表情をよく見て、「最近、様子が変だな」と思うと専任に伝えてきます。専任は担任と別の角度から子どもの様子を見守り、その子どもに合った対応の仕方を担任と一緒に考えていきます。子どもの様子に変化があるときは、友達や家族に関する悩み、生活や学校、将来に関する不安などの原因があることがあります。子どもが生き生きと自分らしく過ごすことができるよう、取り除くべき原因は取り除き、背中を押すべきときは押し、時には笑顔を取り戻すまでその子どもに伴走します。子どもは本来それぞれに力を持っているので、環境を整え見守ることで再び自分の力で立ち上がり始めるものです。

学校は、子ども達が自立するための力を蓄える場所です。子ども達がいつか自分の力で自分の人生をしっかりと歩んでいくことができるよう、その成長を担任とともに支えていきたいと思っています。